





資生堂の製品を手にして うれしそうな村の女性。「毎 日のスキンケアが楽しくな るわ」と目を輝かせる



創業当時から変 とい

生面。

女性のニーズはどこにでもあるのだときました。´きれいになりたいҳという 女性たちがヘアオイルを持って 藤沢さんはこう話す。「首都ダッカのス 確信しました」。 ラムを訪ねると、どんなに貧 るのだろうか。そんな疑問に対し、 化粧品が使われて しくても いて驚

悩みを何とかしたい にスキンケア製品の需要が高いことが きた製品が欲しい 」「安全な成分でで そして、 洗顔料やクリ ダッ カ近郊の

動を担う。

訪問時に村の女性を20人ほ

たのが、

タンガイル県で販売網を持つ

に広めることにした。それを可能に に必要な知識とスキンケア方法を一緒

現地企業との連携。

ここに所属す

る女

性販売員が村々を回って販売と啓発活

生活全体を変える かけに

製品を使うだけ

分かったのだ。

夢を見る力になる。そんな女性を応援 う思いは、女性にとって生きる喜びや にもつながった。「美しくなりたい ない開発途上国で、 たいという理念は、 っていません」。 し、食料や水さえ十 分に得られ

やミ

ためには必須だ。

そこで藤沢さんたちは、

健康な生活

女性を調査してみると、 ンガイル県の女性は、 BOP層の中でも比較的所得が高い ムを毎日使っていた。

知識を伝え、村のなどを使って分かりな ど集め、 に原因を考えてみましょう」。 「どんな肌の悩みがあります 定期的にワー やす ク く衛生や栄養 ショ 紙芝居な ツ プを開

最もこだわるポイント 美しさは健やかさの上に成り立ってい 肌になるには、 るのです」と藤沢さんは話す。 心身共に健康でなければなりません。 で美しくなれるわけではない。「美しい なると、 生活環境を清潔に保ち、 ングラデシ の女性

が多い。 取れていないため、ニキビに悩む女性 洗った方がい たちが直面する課題は多い。 山盛りのご飯におかずは魚や野菜のフ いることもある。、家畜を触ったら手を イなどが少しだけ。 ごみが放置されてハエがたかって 人も多 ネラルの摂取も、 村の中は牛などの家畜が歩き回 それがなぜなの 野菜に多く含まれるビタミ 料理には油をたっぷり使 という認識はあるも 栄養バランスが 美しい肌を保つ か、 理由を知ら 例えば衛 11

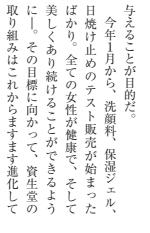
なの

0)



ワークショップでは、実際に製品を使いながら健康や美容について みんなで考える。実は、村の男性で興味を持っている人も多いとか

現地で活動する資生堂の大場華子さんと山岸 みをさん(前列中央)は、「調査で滞在したホーム ステイ先のお母さんに、"いつでも帰ってきてね" と言われてうれしかった」と話す



※Base of the Pyramidの略で、年間3,000ドル以下で暮らす貧困層の



バングラデシュ

美容部員の前身「ミス・シセイ

という職業を生み出した資生堂。

美容

ゥ

バイスすることで女性の

はなかった時代に、

化粧品を販売する

藤沢冬子さんは話す

女性の生き方を応援した

まだ女性の社会進出

が一

般的で

継がれているからです」と、CSR部の

とをしたいという思いが創業から受け

そして何より、世の中に役立つこ

が多く発展が見込まれる南アジアで多「この調査を始めたきっかけは、人口

の女性たちと出会いたいと思ったこ

域でビジネスを展開している まざまな製品を生み出し、 たことがある人も多いはず。

スキンケ

日本人女性なら、

同社の製品を使っ

からメー

キャップ、

美容食品までさ

89の国と地

調査を進めて

いるのが、

株式会社資生

デシュでBOP*ビジネスに向けた

CAの制度を活用し、

バング

ワークショップで使う資料を入れたおそろいの バッグを持って、村で啓発活動を行う女性たち



株式会社資生堂

美しく生きる

創業から140年以上、女性の"美"を追求し続けてきた化粧品メーカー、 株式会社資生堂。その強みを生かし、

知識を広めることで、

女性のエンパワ

メントにつなげたいー

2

1 3 年

製品の使用法や衛生・栄養に関するそうに目を輝かせている。スキンケ

スキン

」「きれいになったかも?」と、う

バングラデシュの女性たちと挑戦を続けている。

てながら、

「さっぱり

して気持ちが

11

そんな説明を聞きながら、

してみる村の女性たち。

顔に手を当

洗顔料を

「洗顔料はよく泡立ててから使うの

女性を応援! 日本でも開発途上国でも

19 **mundi** May 2014 May 2014 **mundi** 18